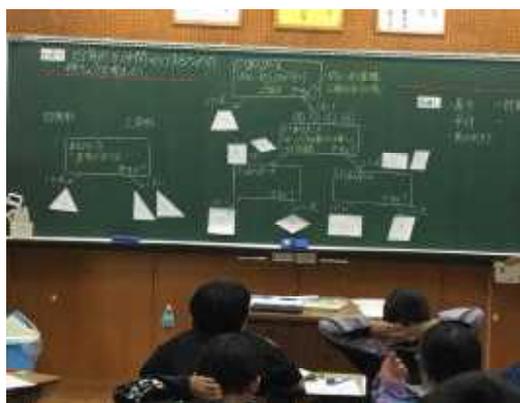
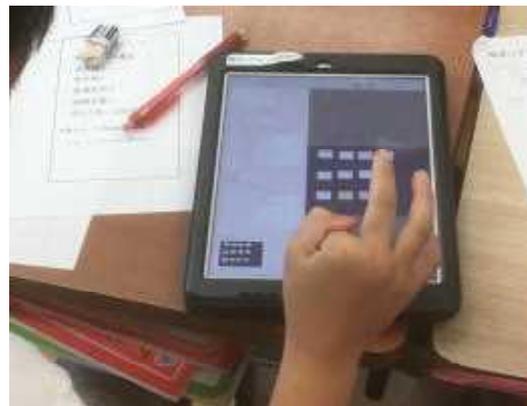
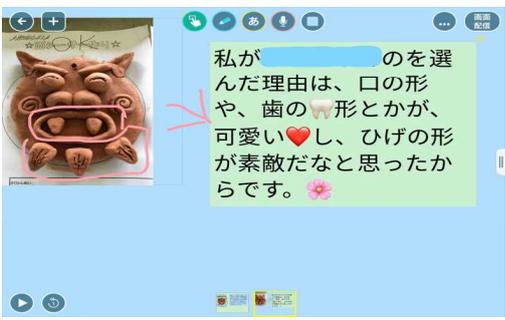


令和元年度 浦添市 ICTエバンジェリスト実践事例集



浦添市立教育研究所

学 校 名	仲西小学校	指 導 者	中川 慎悟
対 象 学 年	第5学年	教 科 等	図工
単 元 名	面シーサーの観賞をしよう！		
ICT環境	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad () <input type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ () <input type="checkbox"/> その他 ()		
本時のめあて	iPadを使って友達の作品のいいところを見つけてまとめよう		
ICT機器の活用場面	○ロイロノートで友達の作品の写真を撮り、良いところをペンで囲み理由を書いていく。		
指導の流れ	<ol style="list-style-type: none"> 1、ロイロノートの新しい使い方を確認する。 (新しく、画像にテキストを挿入したり、テキストの中にテキストを挿入したりするやり方などを確認) 2、友達の作品をカメラで写し、ロイロノートに保存させる。 3、そこから、ペンを用いたりテキストを用いたりして、相手の良いところんに印をつけ、理由を書かせる。 4、提出させ、どのようなことを書いたのか共有する。 		
	   		
指導上の留意点	<p>○文章が長すぎると文字も小さくなっていくため、なるべく簡潔に要約して書かせる。</p> <p>○矢印や囲みを使い、自分がどこを見て考えたかわかりやすいようにする。</p>		

学 校 名	浦添市立神森小学校	授 業 者	山里 大樹
対 象 学 年	6 学 年	教 科 等	特別活動
単 元 名	学校クリーン大作戦		
ICT環境	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad () <input type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ () <input type="checkbox"/> その他 ()		
本時のめあて	掃除のポイントを確認し、役割を決めよう。		
ICT機器の活用場面	事前に撮影した箇所を全体で確認する場面。		
指導の流れ	<p>※事前に児童に写真を撮らせ、編集をさせておく。</p> <p>①めあてを確認する。 ②活動の目的を確認する。 ③児童が撮ってきた写真を全体で共有する。 ④それぞれの掃除のポイントを出し合う。 ⑤掃除する場所を分担する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>		
指導上の留意点	iPad の台数に限りがあるので、事前に計画し写真や編集を行わせる。		

学 校 名	浦城小学校	授 業 者	渡口 昌
対 象 学 年	6 年	教 科 等	社会
単 元 名	わたしたちの暮らしを支える政治		
I C T 環 境	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad () <input checked="" type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ () <input type="checkbox"/> その他 ()		
本時のめあて	国会、内閣、裁判所の役割や仕組み、相互の関連性を捉える。		
I C T 機 器 の 活 用 場 面	国会、内閣、裁判所について、グループでジグソー学習する。(4時間)		
指 導 の 流 れ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「何を調べた方が良いか」や「なぜ、その調べる項目が必要か」等調べ学習の内容を検討する。 2. ロイロノートのプレゼンのまとめ方について確認する。 → シンキングツール版を活用し、写真とコメントの効果的な載せ方などを全員で共有する。 3. グループで、国会、内閣、裁判所のいずれをまとめるか役割を決める。 4. それぞれの役割毎に集まって、調べ学習スタート。(2時間) → 資料まとめ、プレゼンの発表準備まで行う。 5. グループに戻って、プレゼンを行う。(1時間) → プレゼンは一人10分程度とし、残りは三権分立を再度確認する。 6. ノートまとめを行う。(1時間) 		
			
指 導 上 の 留 意 点	ねらいに沿った学習をするために、プレゼン内容の検討が非常に大切である。		

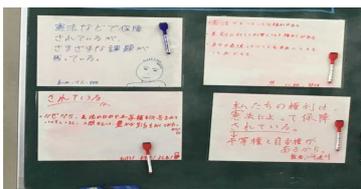
学 校 名	内間小学校	指 導 者	末吉増樹
対 象 学 年	5年	教 科 等	社会科、国語、総合
単 元 名	<p>「学校交流会をしよう」</p> <p>社会：寒い地方と暖かい地方の暮らし</p> <p>国語：わが町ベスト・スリー</p>		
ICT環境	<p>■電子黒板 ■iPad (Skype) ■AppleTV</p> <p>□実物投影機 □デジタル教科書 □デジタルコンテンツ)</p> <p>■その他 (スクリーン、プロジェクター)</p>		
本時のめあて	★Ipad (Skype) を活用して、新潟県の小学校5年生に伝えたい内容をわかりやすく伝えることができる。		
ICT機器の活用場面	<p>○Skype を活用した事前交流学习 (教室)</p> <p>○Skype を活用した全体交流学习 (体育館)</p>		
指導の流れ	<p>☆交流内容</p> <p>「内間小学校」5学年全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ●沖縄県 (観光地、方言、食べ物等) について ●浦添市について ●内間小学校の紹介 ●伝統文化「エイサー」の紹介 <p>「新潟県 新発田市立 紫雲寺小学校」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新潟県について ●紫雲寺小学校の紹介 		
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>児童同士による質問タイムも実施しました。</p> </div>		
			
	※本時以外でも、給食時間等を活用して「給食の献立」や「学校からの景色」を見せたりと交流を行った。		
指導上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ●相手に伝えたいことの内容の精選 (沖縄県と新潟県の比較、浦添市、内間小学校、各クラスで分担する) ●交流方法の説明 (話す・聞く態度) ●事前指導 (児童同士の交流、Skype の確認等) の実施 		

学 校 名	港川小学校	授 業 者	眞榮城 巧
対 象 学 年	第三学年	教 科 等	総合
単 元 名	ロボットゲーム		
I C T 環 境	<input type="checkbox"/> 電子黒板 <input type="checkbox"/> iPad (ロイロノート) <input type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ () <input type="checkbox"/> その他 ()		
本時のめあて	ロボットが動く仕組みから、自分たちの生活について考えよう。		
I C T 機 器 の 活 用 場 面	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板ミラーリング（教師） ・ロイロノートを使って、フローチャートを作成するときにグループで1台使用（児童） 		
指導の流れ	<p>導 ロボットの写真をみせ、興味関心を持たせる。 めあて「ロボットの動く仕組みから自分たちの生活に役立てよう」</p> <p>展</p> <p>問1 ロボットってどうやって動いているのか考えてみよう。 問2 宝箱をひろって、イスにおこう。 ア 「自分で考える問題」 間違った児童から、 間違いをエラー、それを直すことをデバック ということを知る。</p> <p>イ 「グループで考える問題」 ロイロノートにて、フローチャートを作り提出 手順からフローチャート・アルゴリズムという言葉を知る。</p> <p>終 自分たちの生活と照らし合わせ、様々な場面でアルゴリズムがあることを知る。</p> <p>まとめ「ロボットは、プログラミングされて動き、アルゴリズムを考えることでよりよい動きをすることがわかった。またアルゴリズムは自分たちの生活にもたくさん使われていることが分かった」</p>		
指導上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートの使い方が上手いいかない児童への声かけ。 ・グループワークでの声かけ。 		



学 校 名	浦添市立沢岬小学校	指 導 者	照喜名 誠
対 象 学 年	6 学年	教 科 等	総合的な学習の時間
単 元 名	数当てゲームを攻略しよう！		
I C T 環 境	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad (Skype) <input type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ () <input checked="" type="checkbox"/> その他 (ノート PC)		
本時のめあて	課題解決を目指して、事象を比較したり、関連付けたりして考える力を身につけさせる		
I C T 機 器 の 活 用 場 面	石垣市立吉原小との遠隔交流授業ということで Skype を使い、教室全体の撮影として活用した。また、ノート PC をグループ交流の場面で活用した。		
指 導 の 流 れ	導入	学習活動 1 数当てゲームのルールを確認する。 2 学習の流れを確認する。	◇指導上の留意点 ・児童の活動 ◇学習の流れをシーケンスで提示し、活動内容や時間を分かりやすく確認させる。
	めあて：数当てゲームの攻略法を考えよう		
	展開	3 まなボードを使ってゲームに勝つための作戦をグループで作成する。[Plan] 4 対戦する。 [Do] ○吉原小と対戦する。	◇ゲームに勝つための作戦(アルゴリズム)を考えさせる。 ・事前に作成した個々のアイディアを出し合い、グループでまとめる。 ・フローチャートで作戦をまとめる。
	数当てゲーム ①0～9までの数字を使って、3桁の番号を作成する。同じ数字は使えない。 ②相手の数字を推理してコールする。コールされた側は、どの程度当たっているかを伝える。数字と桁があると「ストライク」、数字だけ当たっていると「ボール」、3つとも当たっていないと「アウト」という。例「7 3 9」とコール→コールされた側の数字は「2 7 9」なので「1ストライク1ボール」と相手に伝える。 ③先に3ストライクと言わせた方の勝ちとなる。		
まとめ	5 作戦を紹介し合う。 6 対戦の結果を振り返り、改善する。[Check・Act] 7 再度対戦する。 ○吉原小と対戦する。	◇対戦相手やグループの友達の考えの良さなどに気づかせ、作戦を改善させる。 ・作戦を改善する。	
指導上の留意点	前時までの取り組み ①数当てゲームのルールを理解させる。 ②アルゴリズムをフローチャートで表現する方法を理解させる。 本時における留意点 ①一人のアイディアで作戦を立てないようにさせる。 ②作戦通りに対戦することをしっかりと押さえる。		

学 校 名	沢岬小学校	指 導 者	与那城 瑠奈
対 象 学 年	1 年	教 科 等	道徳
単 元 名	温かい心で親切に（B 親切、思いやり） はしの上のおおかみ		
I C T 環 境	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad () <input type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input checked="" type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ () <input type="checkbox"/> その他 ()		
本時のめあて	身近にいる友達や幼い子などに対して、優しい気持ちで温かく接する実践意欲を育てる。		
I C T 機 器 の 活 用 場 面	中心発問「親切はどのようによいのだろう」について考えさせる場面		
指 導 の 流 れ	<p>第1学年、道徳科の学習において、中心発問「親切はどのようによいのだろう」についての自分の考えをロイロノートで提出させ、考えの交流を図った。</p> <p>教師は、事前にロイロノートで中心発問を書いたカードを用意しておき、児童に考えさせる場面で児童に送り、書けたら提出してもらった。</p> <p>子どもたちのロイロノート</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p>◎しんせつは、どうしてよいのだろう？</p> <p>トをやさしくするから おおかみさんはい まさんにやられそう れしくなったからど つぶったちにもやれ はしともだちがいてき とおもった</p> <p>◎しんせつは、どうしてよいのだろう？</p> <p>じいさんもみ んなも気も ちがいますよ りもよくなるから</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>◎しんせつは、どうしてよいのだろう？</p> <p>やさしい  気もちい なるから</p> <p>◎しんせつは、どうしてよいのだろう？</p> <p>しんせつにしたら 気もちのから じいさんがよそ くなる。</p> </div> </div>		
指 導 上 の 留 意 点	1年生の児童は、自分の考えをみんなに発表することが好きであり、ロイロノートを使うと自分の考えやお友だちの考えがすぐに一覧で映るので楽しく交流することができる。小学校で初めてロイロノートに触れるので、はじめはゆっくりと使い方を指導し、日常的に各教科で取り入れながらマナー・ルールを身につけさせ、扱いに慣れていくと、授業もスムーズに進めることができる。		

学 校 名	浦添市立 浦添中学校	授 業 者	仲村 竜太
対 象 学 年	第3学年	教 科 等	社会科
単 元 名	企業を通じた経済活動		
ICT環境	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad (ロイロノート) <input type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input checked="" type="checkbox"/> デジタル教科書 <input checked="" type="checkbox"/> デジタルコンテンツ (自作のパワーポイント) <input type="checkbox"/> その他 ()		
本時のめあて	労働者の権利は保障されているのだろうか？		
ICT機器の活用場面	導入時 電子黒板、デジタルコンテンツ (自作のパワーポイント) 展開 iPad (調べ学習・ロイロノート)、電子黒板 (ロイロノートで発表) まとめ iPad (ロイロノート)、電子黒板 (ロイロノートで比較・発表)		
指導の流れ	<p>1 パワーポイントで復習、問題提起</p> <p>①企業や流通とは何か、労働者の権利にはどのようなものがあるか、これまでの学習で学んだ事を確認。</p> <p>②ジグソー活動のメインの問いを確認。</p> <p>2 エキスパート活動</p> <p>エキスパート班 (3名) で協力して、与えられた資料からジグソー活動メインの問いに答える。</p>   <p>3 ジグソー活動</p> <p>ジグソー班 (3名) に移動し、エキスパート活動 A ~ C について話し合ったことを伝え合い、メインの問いについて考える。</p>   <p>4 クロストーク</p> <p>①各グループの考えを全体で共有する</p> <p>②個人の考えをまとめさせる。</p> <p>5 まとめ・ふりかえり</p> <p>①生徒の発言を用いて、本時のまとめをする。</p> <p>②ふりかえりシートにふりかえりを記入。</p> 		
指導上の留意点			

学 校 名	神森中学校	授 業 者	前川由梨乃
対 象 学 年	2学年	教 科 等	特別活動
単 元 名	合唱コンクールに向けての目標を考えよう		
ICT環境	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad (ロイロト) <input type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ () <input type="checkbox"/> その他 ()		
本時のめあて	みんなが納得する合唱コンクールの練習方法を考える		
ICT機器の活用場面	グループでの話し合い活動、全体での意見をまとめる共有場面 (フィッシュボーン 使用)		
指導の流れ	<p>めあての提示 「みんなが納得する合唱コンクールの練習方法を考える」</p> <ul style="list-style-type: none"> グループで、ロイロトのフィッシュボーンを活用して練習方法を考える。 ①練習日程 ②練習内容 ③練習時間 ④目標 グループのアジェンダを電子黒板に提示し、考えを共有する。 クラスに必要な重要事項を優先して、練習方法を考える。 全員が納得するような内容を決め、クラスの練習日程とする。 		
指導上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> 全体で納得できるような練習方法を考える。 電子黒板だけの表示では見づらいため、各グループのロイロトに送信し、グループで他の内容も見れるようにする。 		